

## 児童相談所の設置場所・施設整備について

- 1 児童相談所の施設整備について
- 2 児童相談所とは
- 3 一時保護所について
- 4 区に児童相談所を設置すると

# 1 児童相談所の施設整備について

## 設置場所

- 旧板橋第三小学校に、児童相談所を設置します。  
(板橋区本町24-1)
- 開設可能時期、施設規模、区役所本庁舎や警察署等の関係機関との連携の有効性などを総合的に勘案し、旧板橋第三小学校の敷地の一部を利用して設置することとしました。
- なお、「公共施設等の整備に関するマスタープラン」に基づく個別整備計画において、旧板橋第三小学校は、行政需要を総合的に勘案し跡地活用の検討を進めることとされているため、新たな行政需要である児童相談所の設置についても、この跡地活用の一環として検討し、整備を進めていきます。

## 開設時期

- 平成33年度中の開設を予定しています。

## 施設規模

- 想定延床面積は、概ね2,000㎡です。  
なお、子ども家庭支援センターの移転併設を含めた場合、延べ床面積の変更が想定されます。

## スケジュール

	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度
施設整備	基本計画		基本設計・実施設計		建設工事 ●開設
解体工事 (体育館・プール)	解体設計	解体工事			
児童相談 行政の 体制・組織	検討				
人材の 確保・育成	長期派遣研修、採用				●配置
児童相談所 設置市の 事務	各所管での課題検討		組織・人員の検討、事務引継		●実施

- 平成29年3月現在の予定のため、今後の検討状況により、スケジュールを変更する場合があります。

## 2 児童相談所とは

- 児童福祉法に基づいて設置される行政機関です。
- 18歳未満の子どもに関する相談であれば、本人や本人以外（家族・学校の先生・地域の方々等）に関わらず、子どもの健やかな成長を願ってともに考え、問題を解決していく専門の相談機関です。
- 児童福祉司、児童心理司、医師などの専門スタッフによる相談及び支援を行います。
- 現在、東京都には11の児童相談所があります。
  - ・ 児童相談センター    ・ 北児童相談所    ・ 品川児童相談所    ・ 立川児童相談所
  - ・ 杉並児童相談所    ・ 江東児童相談所    ・ 小平児童相談所    ・ 八王子児童相談所
  - ・ 足立児童相談所    ・ 多摩児童相談所    ・ 世田谷児童相談所
- 11の児童相談所のうち、北児童相談所が板橋区を管轄しています。  
（北児童相談所の管轄区：北区、荒川区、板橋区）

### ・ 児童相談所の業務内容

- 児童相談所の基本的業務は、「相談業務」と「援助業務」の2つがあります。

#### 相談業務

養 護 相 談	虐待や養育困難（保護者の家出、死亡、離婚等）に関する相談
保 健 相 談	一般的な健康管理（乳児、早産児、児童の疾患等）に関する相談
障 が い 相 談	知的発達遅れ、肢体不自由、ことばの遅れ、発達障がい等に関する相談
非 行 相 談	家出、盗み、乱暴、薬物の習慣等に関する相談
育 成 相 談	不登校、落ち着きがない、しつけ等に関する相談
里 親 に 関 す る 相 談	里親として家庭で子どもを育てたい時の相談



#### 援助業務

助 言	相談に対する助言、専門機関の紹介
継 続 的 援 助	専門職員による援助（治療プログラム・カウンセリング等）
一 時 保 護	緊急に保護を必要とする場合、保護による行動観察が必要な場合等の一時保護
里 親 制 度	事情により家庭で生活できない子どもの養育（養育家庭、専門養育家庭、親族里親、養子縁組里親）
施 設 入 所	事情により家庭で生活できない子どもの児童福祉施設入所
メンタルフレンド	ボランティアによるメンタルフレンドを派遣し、社会性や自立性を高める支援
愛 の 手 帳 交 付	愛の手帳交付申請の受付

### 3 一時保護所について

- 児童相談所には、必要に応じて一時保護所を設置することとされています。
- 一時保護は、必要に応じて、子どもを家庭から離して一時保護する機能です。
- 一時保護する期間は、必要最小限の期間であり、2ヶ月を超えてはならないとされています。
- 概ね2歳から18歳未満の子どもが対象となります。

#### ・一時保護が必要な場合

##### 緊急保護

- 迷子、置き去りなど保護者が不明なとき
- 保護者の死亡、病気、逮捕、家出、離婚などにより子どもが家庭で生活することが困難な状況が生じたとき
- 保護者の虐待などの理由により、子どもの安全を迅速に確保する必要があるとき
- 子どもの心身の状況や養育環境などを把握する必要があるとき

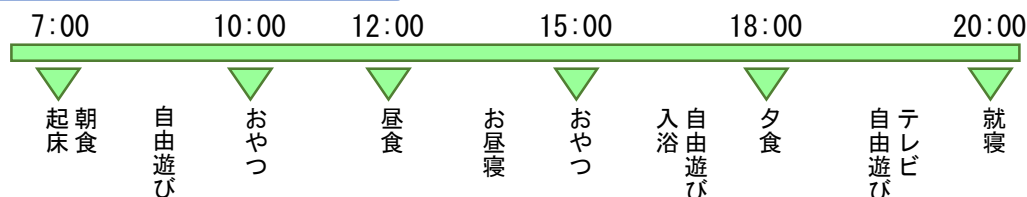
##### 行動観察

- 非行、家庭内暴力、不登校などの子どもを一時的に保護し、行動観察を行い、問題解決の方法を検討する必要があるとき

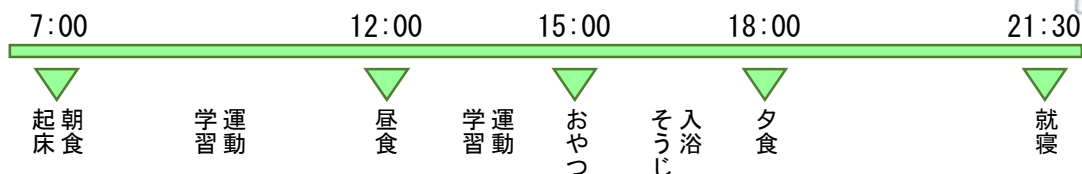
#### ・一時保護所の生活

- 幼児（未就学児）と学齢児（小学生以上）に分かれ、日課により生活します。
- 年齢や成長に応じた生活習慣が身につくよう、生活指導を行います。
- 学齢児には、学習指導員などにより、子どもの学力に応じた学習指導を行います。
- 栄養のバランスや子どもの嗜好に配慮し、楽しい雰囲気の中で食事を提供します。
- レクリエーションとして、スポーツ活動や室内遊戯を計画します。
- 必要に応じて、医学診断や心理診断を行います。

##### 幼児（未就学児）の日課



##### 学齢児（小学生以上）の日課

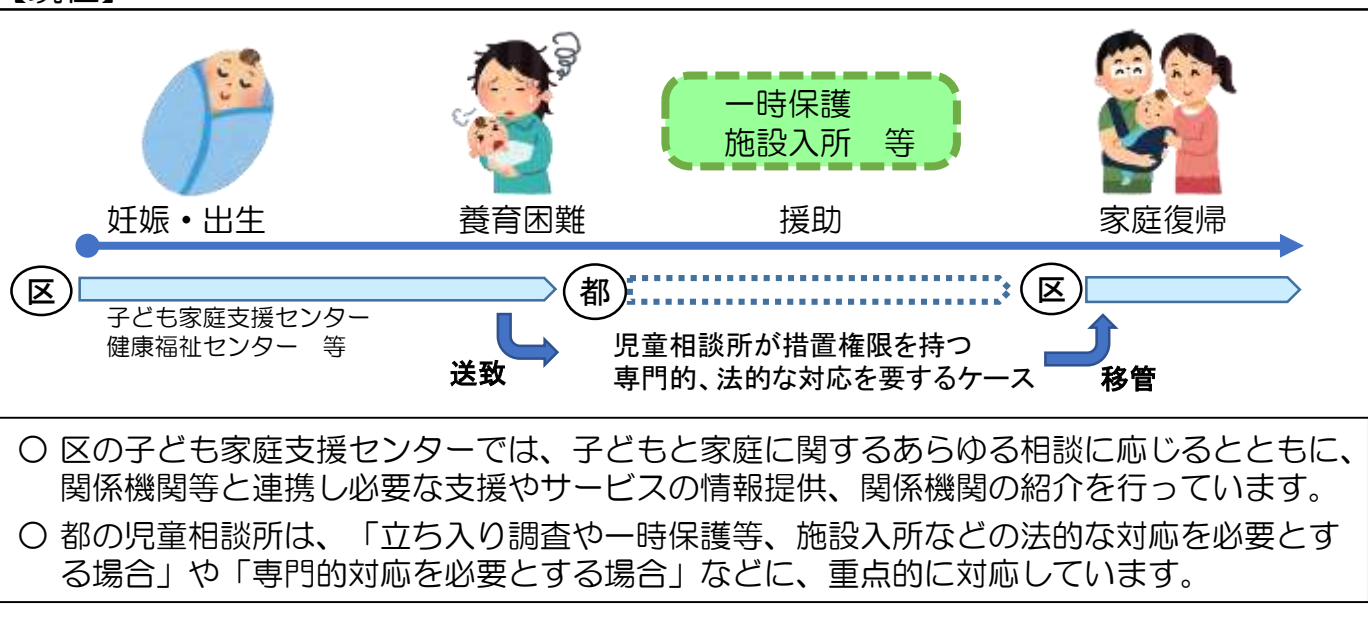


## 4 区に児童相談所を設置すると

- 児童相談については、区と都の二元体制となっており、相互に連携・協力し、対応しています。
- 区に児童相談所を設置すると、  
支援の必要な家庭に対する、早期の段階からの一貫した対応 や、  
関係部署・関係機関との円滑な連携による切れ目のない支援  
など、地域の中で責任を持った対応が可能となります。

### ・相談支援の流れ（例）

【現在】



【区に児童相談所を設置】

